

戸田市防災基本条例検討市民会議（第3回）

「第3回戸田市防災基本条例検討市民会議」が令和2年1月21日(火)に開催され、地震時の避難等について意見交換を行いました。

- 市民意識調査の集計結果（最終値）について、事務局より説明を行いました。次いで、鍵屋会長（跡見学園女子大学教授）から、地震時の避難や対策事例等についてお話しいただきました。
- その後、4グループに分かれ、ワークショップ形式で「大地震時に、要配慮者、地域住民、家族、自分を守るために、何が重要か？」をテーマに意見交換しました。
- 各自でフセンに意見を書き出した後、模造紙にフセンを貼り、意見交換しながら分類しました。
- 途中、テーブルを移動して、別の参加者とも意見交換を行って議論を深めました。
- 元のテーブルに戻った後、出された意見から良いと考えるものを3案程度にまとめ、A3用紙に書き出しました。
- 最後に、他グループの意見を見てまわり、良いと思った意見にシールを貼りました。



● 各グループの主な意見は次のとおりです。

Bグループ (26枚)	避難所の自主運営ルールを決めておく 避難所へのペットの受け入れのルールを決めておく 住宅の耐震化をすすめる
Oグループ (30枚)	正確な情報の発信（信頼できる発信元の設定、明確化） 食料・物資の確保→炊き出し・配布のルール化（誰にどのくらい配るか明確に） 活動（救助）する人達のための食料の確保（後回しにせず!!） 避難所で誰もが代表になれる避難所マニュアルを作る（避難所スタートキット）
Sグループ (24枚)	災害時にすぐ動ける組織づくり、対策マニュアル（組織の運営マニュアル） 若い世代の方が参加しやすい環境づくり 地域コミュニティの活用、日ごろからの連携 職員のための食料備蓄
Iグループ (25枚)	備蓄食の確認→食・健康面（薬・衛生品）等のさらなる充実 定期的な確認を行っているか？ 自助・公助・共助のために→誰がリーダーシップをとるか？きっかけ作りを リーダーの育成、市役所が…講習会なども… 自治会単位の避難所→設営のための指導助言を市が行うこと!!

※（枚）はシール枚数。